

3.生活について

I.住居

- (1)住居の種類 寮 (寮名: Griffith University Village)
 アパート ホームステイ その他 ()
- (2)シェア人数 3 人 (3)共有部分 バス トイレ キッチン (4)自炊 可 不可
(自分は除く)
- (5)大学までの交通手段と所要時間 (6)個室の有無 有 無
 徒歩 バス・電車 自転車 10~15 分
- (7)住居申込方法・時期 (渡航の1か月半くらい前にホームページから申し込みました。)
- (8)住居について困った事やアドバイス及びルームメイトについて(国籍や良かったこと、困った事)

ルームメイトが同性のみの部屋を希望し、日本、パプアニューギニア、スリランカの女子と生活しました。私は素敵なルームメイトと出会えたので、遊びに行ったりご飯を食べに行ったりと充実した毎日を送ることができました。寮に住んでいる日本から来た他の交換留学生とも親しくなることができました。また大学の寮ということでセキュリティの面で安心がありました。良くない点を上げると周辺の住居と比べて家賃がとても高いです。にもかかわらずエアコンはありませんし、部屋は汚くはないですがそれほどきれいでもありませんでした。頻りにパーティーをしている部屋もありました。そのほかに困ったこととして家賃とランドリーの費用を現金で支払うことができずカードはVISAかMasterCardしか使えませんでした。

II.食事

- (1)毎日の食事についてあてはまるもの全てに✓
 自炊 寮食 大学内学食 外食 その他 ()
- (2)ミールプラン 有 無 月額(現地通貨) (日本円約 円)
平日【 朝 昼 夜 】 週末【 朝 昼 夜 】
- (3)最寄りのスーパーやマーケットまでの所要時間
 徒歩 バス・電車 自転車 10~15 分
- (4)食事について困った事やアドバイス

アジア系のスーパーがあり値段は高くなっていますが醤油やみりん、料理酒なども手に入ります。自炊であれば食費はそんなに高くはありませんでした。外食はかなり高いので友人と出かける時以外は自炊していました。

III.インターネット環境

- (1)住居 有 無
- (2)キャンパス 有 無 (キャンパス全体 接続スポット)
- (3)個人契約 有 無
ある場合は契約内容について(契約会社、契約方法など)
家賃にWi-Fiの費用も含まれています。
- (3)外出先でのインターネット利用 有 無
ある場合はその利用方法について(カフェやお店の無料Wi-Fiなど)
ショッピングセンターの無料Wi-Fiを利用してカフェで勉強することもありました。
- (4)携帯電話利用について 日本の携帯を持参 現地購入 使用していない
その利用方法について(契約会社、契約方法、費用など)
日本で使っていたiPhoneのSIMロックを解除して持って行きました。着いた日にルームメイトが連れて行ってくれたのでVodafoneという携帯会社でSIMカードを購入しましたが、後からいろいろ調べてみるとOptusという携帯会社の方が良かったかなと思いました。ゴールドコースト空港にはOptusのカウンターがあります。

4. 留学先大学について

I. 大学の周辺地域

- (1) 治安 良い 普通 あまり良くない 悪い

注意すべき点

非常に治安は良いと思います。用事で夜遅くに帰宅することもありましたが私は怖い目に遭ったことはありませんでした。しかしパソコンやパスポートを盗まれたという話も聞いたことがあったのでどんなときも荷物から目を離さないようにした方が良いでしょう。

- (2) 交通の利便性 良い 普通 良くない

- (3) 主な交通手段 電車・地下鉄 バス・トラム 自動車 その他 (_____)

- (4) 都市部(繁華街)までの所要時間 15 分 (交通手段: トラム)

- (5) 交通手段に関して注意すべきことやアドバイス

go cardという交通のICカード(SuicaやPASMOのようなもの)があります。学校名やメールアドレス、住所などを登録することで留学生もコンセッションの割引が適用され半額でトラムやバスに乗れるので早めの登録をおすすめします。

- (6) よく利用した買い物やレジャー、医療機関など周辺施設について

ショッピングセンターはトラムで10分のAustralia Fairを利用することが多かったです。DaisoやKmart(日本のニトリのようなお店)が入っていて、生活に必要な一通りのものを手に入れることができました。Australia Fairには日本語医療センターも入っていて保険を使えるので風邪を引いたときに利用しました。トラムの終点にはPacific Fairというゴールドコーストで最も大きいショッピングモールがあり、休日買い物で利用していました。ゴールドコーストにはレジャー施設もたくさんあります。遊ぶ場所には困らないと思います。

II. 授業

- (1) 履修登録の時期・方法 出発前 出発後 派遣先大学国際室 オンライン メール等
 その他 (_____)

- (2) 履修の制限

- (3) 授業・履修登録で困ったことやアドバイス

埼玉大での履修登録と同じように興味のある授業をすべて登録しておいて実際に受けた後で消していくのが良いと思います。初回の授業で最終課題のことまで説明してくれるので、何をもって評価されるのか確認しておくことをおすすめします。

- (4) 語学研修(学期前・学期中)を受けていれば、期間・内容・費用について

- (4) 履修科目

	科目名		授業の言語	出席人数	単位数
1	Language and Communication for Arts and Social Sciences 授業内容/ 履修学期	留学生向けの授業。文献の探し方、エッセイの書き方、プレゼンのやり方などを学ぶ。埼玉大の「アカデミックスキルズ」に似ている。	英語	約 30 名	10 単位
2	Language, Culture and Society 授業内容/ 履修学期	社会言語学の授業。社会と言語がどのように結びついているのかを考えた。	英語	約 15 名	10 単位
3	Equity and Diversity 授業内容/ 履修学期	社会福祉、ソーシャルワークの授業。「平等」をテーマに小さなグループで話し合い、その後全体で意見を共有した。	英語	約 50 名	10 単位
4	Understanding Asia 授業内容/ 履修学期	東アジアからオセアニアにかけての地域の歴史や政治、文化や考え方について学ぶ。	英語	約 20 名	10 単位
5	授業内容/ 履修学期		授業の言語	出席人数	単位数
				約 名	単位

(5)履修して良かった科目 ※記入欄が不足する場合は追加してください。

科目名	Language, Culture and Society
理由	言語はそれを使っている人びとのアイデンティティでもあるのだとわかり、今までとは違う視点で言語を考えられるようになった。言語の継承や消滅を学んだり、ジェンダー、地域、年齢、立場などが言語にどのように表れるのかを考えたりした。興味深かった。
詳細 (課題、試験等)	試験は無し。毎週の課題、2~3人でのプレゼン、2000語のレポートで評価される。
科目名	Equity and Diversity
理由	本当に「平等」な社会を実現するにはどうしたら良いのか、身体的に精神的に経済的に抑圧を受けている人にどのような手が差し伸べられるべきなのかを考えて話し合った。社会の中でいろいろな人と関わり合って生きていくために大切な考え方を学んだ。ありのままの自分と相手を受け入れることがいかに重要なのかを知った。
詳細 (課題、試験等)	試験は無し。3回の課題レポートで評価された。具体的な状況を指定されるケーススタディの課題が多かった。
科目名	Understanding Asia
理由	自分が住んでいるアジアを外側から見ることができ新しい発見があった。日本がテーマの時には意見を求められることもあった。
詳細 (課題、試験等)	2回の試験とレポートで評価された。

Ⅲ.課外活動

- (1)課外活動への参加 有 無
 (2)イベントへの参加 有 無

有る場合はクラブ名、イベント名と活動内容を記入

GUGC Badminton Club (バドミントン)とSerotonin (アカペラ)に参加しました。いろいろなバックグラウンドをもつ人びとと知り合うことができ良い経験になりました。Griffith Mateという団体が留学生向けの様々なイベントを企画しているので夕食会やホエールウォッチングなどに参加しました。

Ⅳ.施設・設備

- (1)学食・カフェテリア 有 無 13 箇所
 カフェがたくさんあります。
 (2)スポーツ関連施設 有 無 具体的に (ジム、プール、陸上トラックなど)
 (3)ライティング・センター等履修サポートサービス 有 無
 (4)その他お勧めの施設・設備

図書館に24時間空いている部屋があるので友達と明け方まで勉強することもありました。

- (5)現地学生との交流機会 満足 やや満足 やや不満 不満
 そう感じた理由を教えてください。

現地学生よりも留学生と交流する機会が多かった。

Ⅴ.お金の管理

- (1)お金の管理方法 現地銀行口座 インターナショナルカード(国際キャッシュカード) クレジットカード
 海外専用プリペイドカード(キャッシュパスポート等) デビットカード 現金
 その他 (現金をなるべく使わないで、カードで支払いをするようにしていました。レシートをノートで整理していました。)

不便だったこと・お勧め方法等アドバイス

VISAのクレジットカードの限度額を留学中の期間だけ増額していけばよかったです。

5.費用について

I.留学にかかる費用

	内容詳細	期間(ヶ月)	月額	総額(円)	支払方法
渡航準備	往復航空券・燃油サーチャージ・空港使用料	-	-	¥ 170,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	海外留学保険	-	-	¥ 31,320	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	現地保険	-	-	¥ 16,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	ビザ申請料	-	-	¥ 45,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	語学研修代(総額)		-	¥ -	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	その他()	-	-		<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
現地費用	宿舍費(月額)	4ヶ月	¥95,000	¥ 380,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	光熱水費(月額)			¥ -	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	食費(平均月額)	4ヶ月	¥35,000	¥ 140,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	携帯料金(月額)	4ヶ月	¥3,000	¥ 12,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	インターネット料金(月額)		¥0	¥ -	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	交通費(平均月額)	4ヶ月	¥3,000	¥ 12,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	テキスト代、研究費用、学用品(総額)	-	-	¥ 5,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	日用品(平均月額)	4ヶ月	¥15,000	¥ 60,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	娯楽費(平均月額)	4ヶ月	¥20,000	¥ 80,000	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 <input checked="" type="checkbox"/> クレジットカード
	旅行(総額)	-	-	¥ 100,000	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	Registration/Administration Feeなど 留学先支払手数料(総額)	-	-	¥ -	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	その他()				<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	その他()				<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> クレジットカード
	合計				¥ 1,051,320

II.奨学金について

奨学金名	期間(ヶ月)		月額(もしくは総額)	申請方法
業務スーパージャパンドリーム財団奨学金	4ヶ月間	<input checked="" type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額	¥150,000	国際室
「埼玉発世界行き」奨学金		<input type="checkbox"/> 月額 <input checked="" type="checkbox"/> 総額	¥200,000	個人

6. 留学全般について

I. 留学先

(1)なぜ留学しようと思いましたか？そして、いつ頃留学することを決めましたか？

高校生の頃から大学生になったら留学したいと思っていました。実際に留学を決めた理由は英語力を向上させたかったからと、日本から出ているいろいろな考えを持つ人と関わることで、様々な価値観に触れて刺激を受けたいと思ったからです。

(2)留学先大学を決めるにあたり、参考にしたものを教えてください(例:各協定校のHP、先輩の話、交換留学報告書等)

交換留学報告書と先輩のお話を聞いて留学生生活をイメージしました。

(3)留学申請に必要な語学スコアの向上方法を教えてください。

IELTSの夏期集中講義に参加しました。講義が終わってから試験までは参考書を使って学習しました。それ以外には洋画を通学中に見ていました。

(4)なぜ最終的にこの国、この大学に決めましたか？

英語力を向上させるために英語圏の国に行きたいと思いました。また、多民族国家のオーストラリアで学び生活することで何か感じたり得られたりするものがあるのではないかと思いました。グリフィス大学を選んだ理由は、留学生の数が多くサポートが充実していたからです。

(5)留学先としてこの大学をお勧めするポイントをあげてください

留学生へのサポートが充実しているところです。英語が第一言語でない生徒のためにも様々なサポートがあります。現地の学生も理解してくれてゆっくりしゃべってくれたり何度も聞いたりしてくれます。また、ゆったりとした土地柄なので日本とは違う雰囲気とモチベーションで勉強に向かうことができます。

II. まとめ

留学を通して学んだこと、大変だったこと、留学希望者へのアドバイスなど自由に記述。

上記のアンケートで書ききれなかったことなど、たくさん記載してください。

留学に行くことを決断するにはたくさんのハードルがありました。英語で授業が理解できるのだろうか、お金がたくさんかかるのではないかと、外国での生活は危険で困難なのではないかと、友達ができないのではないかなど様々な不安と向きあって準備する必要がありました。渡航後もはじめは授業について行くことができず苦しい思いをしました。しかし留学を終えた今振り返ってみると、この4ヶ月間は私にとってかけがえのないものになりました。はじめは間違えることが恥ずかしいと思っていてなかなか積極的になれませんでした。「私は留学生だから現地学生と同じようにできなくて当たり前だ。とにかくなんでも伝えてみよう」と考えてから前向きに取り組めるようになりました。また、素晴らしい人びとに出会ってたくさんの生き方に触れることができました。留学中は自分と向き合う時間が増えると聞いていましたが本当にその通りで、周りの人びとから良い刺激を受けて自分について考えることができました。4か月という期間は短くあっという間でしたが、一日一日を無駄にしないように大切にしながら日々を過ごしました。せっかくだからとクラブ活動やイベントなどの新しいことにもどんどんチャレンジしました。慎重で優柔不断な留学前の私には考えられない変化でした。いくつかのトラブルもありましたが、それを乗り越えるたびに自分が成長していくのを感じられてとてもうれしかったです。ゴールドコーストという美しい場所で勉強して生活して、新たに知識と友情と自信と思い出を手に入れて日本に帰ってくることができました。不安でいっぱいだった4か月前の自分に教えてあげたいくらい幸せな留学生活でした。支えてくださったすべての人びとに感謝します。ありがとうございました。

